

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 21 日 (2016.1.21)

【公表番号】特表 2015-501843 (P2015-501843A)

【公表日】平成 27 年 1 月 19 日 (2015.1.19)

【年通号数】公開・登録公報 2015-004

【出願番号】特願 2014-547416 (P2014-547416)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 37/00 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 11 月 25 日 (2015.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T o l l 様受容体 (T L R) に媒介される転移促進反応を阻害するための医薬組成物であって、少なくとも 1 つの m i R - 2 1 および / または m i R - 2 9 a 遺伝子産物を含み、ここで当該 m i R - 2 1 および / または m i R - 2 9 a 遺伝子産物は、がん細胞において T L R に媒介される転移促進反応を阻害するのに十分な量で存在する、前記医薬組成物。

【請求項 2】

m i R - 2 1 および / または m i R - 2 9 a 遺伝子産物が、アンチセンス m i R - 2 1 および / またはアンチセンス m i R - 2 9 a を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

m i R - 2 1 および / または m i R - 2 9 a 遺伝子産物が、ロックド核酸 a n t i - m i R - 2 1 阻害剤および / またはロックド核酸 a n t i - m i R - 2 9 a 阻害剤を含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

発現される前記 T L R が T L R 7 または T L R 8 である、請求項 1 に記載の医薬組成物

。

【請求項 5】

がん転移を改善するための医薬組成物であって、少なくとも 1 種類の医薬的に許容できるキャリアーまたは賦形剤中に少なくとも 1 種類のロックド核酸 *anti*-21 阻害剤および少なくとも 1 種類のロックド核酸 *anti*-29a 阻害剤を含む、前記医薬組成物。

【請求項 6】

さらに追加の化学療法化合物を含む、請求項 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

対象ががん転移の危険性を有するか否かに関する検出を補助する方法であって、以下の工程：

a．対照と比較した相対的な *miR*-21 および *miR*-29a の発現を同定し、そして

b．前記対象が対照と比較して増大した *miR*-21 および *miR*-29a の発現を有する場合、前記対象において増大したがん転移の危険性があると診断し、または

c．前記対象が対照と比較して増大した *miR*-21 および *miR*-29a の発現を有しない場合、前記対象において増大したがん転移の危険性がないと診断する；

を含む、前記方法。

【請求項 8】

さらに診断に基づいて予後を決定することを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

さらに以下の工程：

a．対象から得られた試験試料から *miR*-21 RNA および *miR*-29a RNA を逆転写して標的オリゴデオキシヌクレオチドのセットを提供し；

b．前記標的オリゴデオキシヌクレオチドを *miR*-21 特異的および *miR*-29a 特異的プローブオリゴヌクレオチドを含むマイクロアレイにハイブリダイズさせて前記試験試料に関するハイブリダイゼーションプロファイルを提供し；そして

c．工程 (b) のプロファイルを対照と比較する；

を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記がんが、ルイス肺癌；扁平上皮癌；非小細胞肺癌；小細胞肺癌；からなる群より選択される肺がんである、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記がんが、肺胞性基底上皮腺癌；肺腺癌；結腸腺癌；子宮頸部腺癌、前立腺腺癌；乳腺癌；食道腺癌、膵臓腺癌；および胃腺癌；からなる群より選択される腺癌である、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。